

# ロングアドベンチャー

8月7日(土) ~ 8月12日(木)

IN 国立曽爾青少年自然の家

	午前	午後	夜
1日目	施設に向けて出発	水鉄砲大会	振り返り・スタンツ練習
2日目	野外炊飯	野外炊飯・グループタイム	振り返り・スタンツ練習
3日目	登山	登山	ナイトハイク
4日目	休憩	秘密基地づくり	振り返り・スタンツ練習
5日目	グループタイム	グループタイム	キャンプファイア
6日目	清掃・思い出工作	施設を出発・解散	

**一日目:** 少し不安定な天候な初日ですが、メンバーのテンションは上々で、元気よく尼崎を出発しました。施設に到着し、本来は川遊びの予定でしたが、前日の雨の影響で出来ない為、同時開催している“スプラッシュフェスティバル”のプログラムに寄せていただき、水鉄砲大会を行いました。川遊びは出来ませんでしたが無意義に過ごすことが出来ました。その後は施設の使い方の説明を受け、食堂にて夕飯をいただきました。夜のプログラムは【キャンプの過ごし方】についてみんなで話し合いました。「家族のように過ごして欲しい」を合言葉に六日間頑張ってくださいます。また、五日目のキャンプファイアに向けて、【スタンツ(出し物)】を決めてもらいます。空き時間や、毎夜に頑張ってくださいますので、当日本番が楽しみです。



**二日目:** 今日は一日屋外で調理の日です。朝食はカレー同様、定番の“パックドッグ”です。キャベツを千切りにし、ソーセージを詰め込みいただきました。少し焦げてしまった箇所もありましたが、口いっぱい頬張りながら美味しく食べておられました。朝食が済むと続けて野外炊飯の“カレー”に挑戦しました。何度か経験のあるメンバーもおられ、スムーズに進みました。かまどの火起こしについては皆で理屈から再確認をしました。話を終え、火付けに入るとどのグループも一回で成功し、喜ばれていました。予定通りの時間でカレーが完成し、量も考えておられたので、全グループ完食されていました。カレーの片付け後は、スタンツ練習とレクリエーションを行いました。久々にカー杯走り回り、いい汗をかいたと思います。夜は天候の関係から、スタンツ練習と振り返りを行いました。皆「曽爾の星を早く見たい!!」と仰っていました。夜空がとても恋しいです。



**三日目:** 昨日の野外炊事の片付けの仕上げから一日が始まりました。昨日までは率先して作業に取り掛かる方と、ついサボってしまう方との差が見えていましたが、今朝の動きは全員が声を出し、協力しあっている姿が伺えました。片付けを完了させると今日のメインプログラム【登山】に向けて準備を進めました。ただ登るのではなく、各グループで目標を定めいただきました。それを登山中、持ち続け、いつでも確認していただけるようにしました。目標を定め、準備が整い、出発です!! 今回のルートはそこまで激しい山ではないので、その分沢山会話をさせていただきました。中盤以降、皆が疲れてきたら声を掛け合い、「頑張れー!」が山中に轟いていました。途中で食べたおにぎり弁当はとても美味しく、沢山おかわりされていました。昼食後、もうひとつの山頂を目指しました。距離はそこまで遠くないため、疲れはありますが、皆元気です。曽爾高原を一望出来る亀山山頂は、吹き飛ばされるぐらい風が強かったですが、壮大さに感動されていました。無事に下山し、その後のご褒美アイスに皆最高の笑顔を見せていました。夕飯後、なんとか天候も落ち着いたので、ナイトハイクに出掛けました。日中とは違う夜の高原に少しオドオドされながらも、夜の



澄んだ風の音や葉がすれる音を感しました。施設に戻り、入浴を済ませ、布団に入るとすぐに寢息が聞こえてきました。

**四日目：** 起床後、四日目ということと登山後ということもあり、メンバー皆から疲れが見えていたので予定を変更し、午前中は休息としました。休み時間を有効に使われており、ベッドで休まれたり、スタンプの話し合いをしたり、談笑されたりして過ごしました。昼食は焼きそばを食べ、午後からは【秘密基地】を作りました。「秘密の場所で作る」事をルールとし、どのグループも森の中に、他のグループが分からない場所に作りました。翌日は一日、基地で過ごしてもらうので、頑丈にしっかりとつくりました。夜からは翌日の夕食までグループタイムです。これまで沢山のプログラムをしてきましたが、残り一日半はゆっくりグループのペースで過ごしていただきます。



**五日目：** 朝からグループごとに考えて行動しました。朝食作りから各々考えて自分達に合った動きをされました。朝食は二日目につくった“バックドッグ”です。一度経験があるので、手際がよく、難なく作られていました。おかわりをされる方が沢山おられ、メンバーの体力の多さに驚きました。朝食後は昨日作った秘密基地へ向かい、各々過ごしました。談笑を楽しんだり、スタンプ練習をしたりされました。昼食のカレー作りもお手の物で、担当を速やかに分かれ取り掛かりました。味も二日目より美味しく、どのグループも残さず完食されました。片付けを済ませ、秘密基地の撤収を完了させ、スタンプの最後の詰めを行いました。最後の夕飯は食堂で、楽しく時間を過ごしました。夜のプログラムはスタンプ発表の舞台である“キャンプファイア”です。これまでに何度も話し合い、練習されてきた成果を見せていただきました。演劇やあるあるネタ、キャンプに沿ったネタなどを披露されました。やる側も見る側も一体となり、とても温かい雰囲気の中、実施することが出来ました。最後にキャンプを振り返り、今回のキャンプで得たものを皆で確認しました。寝る前に色々思い出され、感極まった方もおられましたが、就寝時間になるとすぐに部屋から寢息が聞こえてきました。



**六日目：** 朝から片付けの為、忙しく動きました。ロングのメンバーにとって片付けは何度も行ってきたので、こちら側から指示を出さずとも動いている方も沢山おられました。朝食を済ませ、最後のプログラム、“思い出工作”です。グループ人数分のコースターを一人ずつ作成し、そこにグループメンバーの名前と一言を書いて贈ります。皆、一人一人に感謝の言葉や嬉しかった事、楽しかった事を書いておられました。そして贈る時に、直接感謝の言葉を添えて贈りました。嬉しそうな表情や照れ臭そうな表情が伺えました。最後の昼食を済ませるとついに出発です。帰りの車内は、行きとは大きく異なり、最後の最後までメンバー同士、談笑されていました。解散時も「またねー！！」と元気よく手を振る姿が見られました。



## <キャンプ総括>

今回のロングアドベンチャーのテーマとして、【家族のような仲間】を訴えてきました。年齢、性別、学年隔たりなく接し、年上は年下のメンバーの面倒を見、年下は年上のメンバーに追い付こうと必死に食らい付く、そのような関係作りを行いました。キャンプ序盤は年上と年下の間になんとなく壁があり、コミュニケーションは特定の方としかされませんでした。日が経つごとに隔たりなく接している様子を伺えました。メンバーがキャンプ中に困っていたり、寂しがっていたりしていると、「元気出せよ！ブラザー！！」と言い、友達に勇気を与えている様子に感動を覚えています。ゆえに仲間の事に対して、本気で心配し、嬉しく思い、哀しみ、苛立つ。今回皆さんが形成されたグループは本当に家族のように温かく、真剣に取り組まれていたと感じました。是非とも来年もお会いし、再開の感動を分かち合いましょう！！

(竹中 哲郎)